

11305その他の精密機械器具製造業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2018	1	8 ～ 9	社員は当社内において、車輪付きの台車に載せた金型（重さ100kgほど）を台車から持ち上げようとしたところ、台車だけがズレて移動してしまい、床と金型の間に左手を挟み、左手示指、中指、環指を負傷した。	77	7	521	—
2	2018	1	13 ～ 14	工作機械塗装事務所、塗装ブースで工作機械部品塗装作業中に、左手に工作機械部品（カバー）を持ち、右手に書類を持った状態で小走りしようとしたところ、床の溝につま先が引っ掛かり転倒し、顎、両手、両膝を強打した。	64	2	417	10～ 29人
3	2018	1	8 ～ 9	工場内トラックヤードにて、半導体製造装置本体を出荷のため、ハンドリフトの操作者1名と補助1名（被災者）で2～3m移動させようとしたとき、バランスを崩したため、操作者1名と補助1名と周りにいた1名の3名で支えようとしたが、重さに耐えられなくなり、被災者が下敷きになった。高さ：2,800mm、幅：1,950mm、奥行き：1,100mm、重量：約1.5トン。	57	5	362	10～ 29人
4	2018	1	22 ～ 23	出張のため、移動し到着後、食事をしてホテルへ戻る際に道で転倒した。当時は雪が積もっている状況で道もアイスバーン状態になっており、出張のため革靴で移動していた。転倒した際に足首の上あたりを痛め、立ち上がれなかった。足首を骨折した。	46	2	417	1000 人以上
5	2018	2	9 ～ 10	更衣室で防寒ズボンを履く際、バランスを崩して後方に倒れ、後頭部を強打した。	46	19	911	500 ～ 999

14	2018	4	11 ～ 12	4段作業台（1.2m）にて射出成形機の吊り冶具を取りつけ後、作業台から降りようとして、体の向きを右側に変えて足を一步出したとき、階段側ではないことに気付き、咄嗟に飛び降りた。左足で着地した際、弾みで腰を痛めた。	55	1	371	50～ 99人
15	2018	4	16 ～ 17	自社工場にて金属接合（摩擦圧接）加工の機械作業をしているときに、材料と一緒に右手中指をクランプに挟んでしまった。	35	7	379	—
16	2018	4	17 ～ 18	配送センター内で製品をパレットからトラックへ積み込みをしているときにパレットをフォークリフト作業者が合図、確認を無しに前進させた際にパレット上にて作業中の作業者の膝にパレットが当たり打撲をした。	32	18	222	50～ 99人
17	2018	4	13 ～ 14	装置洗浄作業時、ヘルメットを着用せずに作業をしていたため、ユニットの取っ手部に頭をぶつけて裂傷を負った。	51	3	391	30～ 49人
18	2018	5	14 ～ 15	倉庫内ラック棚前にて高さ140cmの二段棚上に積み上げられている空段ボール箱、三箱が重ねてある一番上の箱を取ろうとした。倉庫内に設置されている脚立を用いず自ら搬入した手押し台車を利用し、台車上にプラスチック箱と段ボール箱を載せこの上に乗ってから段ボール箱を取ろうとした。そのときにバランスを崩し床面に落ち腰を強打し右足大腿骨を折った。	47	1	371	50～ 99人
19	2018	5	14 ～ 15	作業場の天井高3.5mにある蛍光灯の交換作業を行っていた。交換終了後、タラップ型の移動式作業台（H1.8m）から降りようとした際に、誤って階段側からではなく反対側に足を踏み外してしまい、作業台の最上段より落下、右半身を強打した。	53	1	371	100～ 299人
20	2018	5	13 ～ 14	鉄製のプレート部品（37kg）を両手で持って運搬中に転倒し、部品と床との間で右手の親指を除く4本の指を負傷した。	41	2	521	100～ 299人

21	2018	6	15 ～ 16	作業台脇に設置してある清掃用エアークンのホース部分が破裂し、破裂音により耳鳴りが止まらなくなり、障害性難聴となった。	48	90	319	300 ～ 499 人
22	2018	6	11 ～ 12	自動機械設備の上に乗る、針の供給フィーダーの調整中、パネルを操作して機械を止めたつもりが止まっておらず、搬送治具が稼働し、指を挟んで裂傷を負った。	41	7	169	300 ～ 499 人
23	2018	6	13 ～ 14	工場掃除中に、荷物（アルミ材、約8.5kg）を木の台に置き、右腕で引きずりながら移動しようとして引っ張ったところ、右上腕二頭筋を断裂した。	39	8	611	1～9 人
24	2018	6	10 ～ 11	工場フライス盤を使って品物の加工作業中、フライス盤の刃を用いて製品の2つの穴を繋げていたとき、一旦刃を上げて、次の製品に取り掛かる際にフライス盤を停止しておらず、軍手が刃と接触し、緊急停止ボタンを押したが間に合わず、作業着がフライス盤に巻き込まれて負傷した。	40	7	152	10～ 29人
25	2018	6	9 ～ 10	洗浄槽のタンク（高さ65cm）の上に乗る、内部を確認したあと、タンクから前向きで降りたとき、左足踝を捻挫した。	40	3	417	30～ 49人
26	2018	6	9 ～ 10	脱穀盛り合わせ作業場で、天井吊り下げ型の扇風機の向きを変えようと部品棚に上がり、棚から下りる際に棚2段目（高さ約50cm）から後ろ向きに飛び降りたとき、足に違和感があり、右足親指にひびが入った。	53	3	379	300 ～ 499 人
27	2018	7	14 ～ 15	会社の敷地内で、作業中のフォークリフトの左後方で、車両の誘導をしていたところ、バックしてきたフォークリフトの後輪に右足を踏まれてしまった。	59	7	222	50～ 99人
			15	被災者は、工場内で内径研磨機で作業中、回転する軸砥石が振動				50～

37	2018	9	11 ~ 12	<p>工作機械の修理を行っている際、技術者から切粉チップコンベア</p> <p>排出口に穴があいていると指摘があり、目視では確認できないため手で穴のサイズの確認をしていた。その際、機械を止めずグ</p> <p>ローブもはめていなかったため、穴の部分に指先が入り、コンベアのスクリューに指が挟まれ、右手薬指を骨折した。</p>	67	7	121	10~ 29人
38	2018	9	17 ~ 18	<p>工場内検査エリアにて、高さ4mの自立できない場所での装置用配管接続作業時、不足部品を床スフロアまで取りに行く際、床ス開口部まで中腰で移動中に足を滑らせてバランスを崩し、排気取り口のエッジ部品に手をついて左手小指に切創を負った。</p>	51	2	921	-
39	2018	9	15 ~ 16	<p>鋼管切断ラインのプレス機金型の交換をするため、昇降台車に金型（約80kg）を移そうとしたとき、金型と台車の間に右手を挟んで骨折し、ブレーキのかかっていない台車が後方に動いて1mの高さから金型が落下し、左足甲を負傷した。</p>	25	4	154	10~ 29人
40	2018	9	14 ~ 15	<p>金属部品にドリルで穴開け加工中、品物を左手で押さえていたとき、長い切粉が出て左手親指の第1関節にかかり、切ってしまった。</p>	47	7	169	10~ 29人
41	2018	9	10 ~ 11	<p>調合注入室でレンズ原料調合中に温度が上昇し、化学反応が異常に進み何らかの原因で発火し、爆発に巻き込まれた。</p>	48	14	162	100 ~ 299 人
42	2018	9	15 ~ 16	<p>ローラーコンベア一付台車に真空設備から製品を移動する際、進行方向のローラーに手を掛けていたため、手を挟んだ。</p>	40	7	362	10~ 29人
43	2018	9	9 ~ 10	<p>電圧計プローブをCV1基板のテストピンからCV2基板のテストピンへ移動させる際、右手薬指が基板内部に接触して負傷した。</p>	47	13	359	30~ 49人
			11	<p>工作機械の修理を行っている際、技術者から切粉チップコンベア</p> <p>排出口に穴があいていると指摘があり、目視では確認できないた</p>				

44	2018	9	12	め手で穴のサイズの確認をしていた。その際、機械を止めずグ ローブもはめていなかったため、穴の部分に指先が入り、コンベ アのスクリューに指が挟まれ、右手薬指を骨折した。	67	7	121	10～ 29人
45	2018	9	17 18	工場内検査エリアにて、高さ4mの自立できない場所での装置用配 管接続作業時、不足部品を床上フロアまで取りに行く際、床上開 口部まで中腰で移動中に足を滑らせてバランスを崩し、排気取り 口のエッジ部品に手をついて左手小指に切創を負った。	51	2	921	—
46	2018	9	15 16	鋼管切断ラインのプレス機金型の交換をするため、昇降台車に金 型（約80kg）を移そうとしたとき、金型と台車の間に右手を挟ん で骨折し、ブレーキのかかっていない台車が後方に動いて1mの高 さから金型が落下し、左足甲を負傷した。	25	4	154	10～ 29人
47	2018	9	14 15	金属部品にドリルで穴開け加工中、品物を左手で押さえていたと き、長い切粉が出て左手親指の第1関節にかかり、切ってしまっ た。	47	7	169	10～ 29人
48	2018	9	10 11	調合注入室でレンズ原料調合中に温度が上昇し、化学反応が異常 に進み何らかの原因で発火し、爆発に巻き込まれた。	48	14	162	100 ～ 299 人
49	2018	9	15 16	ローラーコンベア付台車に真空設備から製品を移動する際、進 行方向のローラーに手を掛けていたため、手を挟んだ。	40	7	362	10～ 29人
50	2018	9	9 10	電圧計プローブをCV1基板のテストピンからCV2基板のテストピン へ移動させる際、右手薬指が基板内部に接触して負傷した。	47	13	359	30～ 49人
51	2018	9	11	工作機械の修理を行っている際、技術者から切粉チップコンベア 排出口に穴があいていると指摘があり、目視では確認できないた め手で穴のサイズの確認をしていた。その際、機械を止めずグ	67	7	121	10～ 29人

			12	ローブもはめていなかったため、穴の部分に指先が入り、コンベアのスクリューに指が挟まれ、右手薬指を骨折した。				
52	2018	9	17 ～ 18	工場内検査エリアにて、高さ4mの自立できない場所での装置用配管接続作業時、不足部品を床スフロアまで取りに行く際、床開口部まで中腰で移動中に足を滑らせてバランスを崩し、排気取出口のエッジ部品に手をついて左手小指に切創を負った。	51	2	921	—
53	2018	9	15 ～ 16	鋼管切断ラインのプレス機金型の交換をするため、昇降台車に金型（約80kg）を移そうとしたとき、金型と台車の間に右手を挟んで骨折し、ブレーキのかかっていない台車が後方に動いて1mの高さから金型が落下し、左足甲を負傷した。	25	4	154	10～ 29人
54	2018	9	14 ～ 15	金属部品にドリルで穴開け加工中、品物を左手で押さえていたとき、長い切粉が出て左手親指の第1関節にかかり、切ってしまった。	47	7	169	10～ 29人
55	2018	9	10 ～ 11	調合注入室でレンズ原料調合中に温度が上昇し、化学反応が異常に進み何らかの原因で発火し、爆発に巻き込まれた。	48	14	162	100 ～ 299 人
56	2018	9	15 ～ 16	ローラーコンベア付台車に真空設備から製品を移動する際、進行方向のローラーに手を掛けていたため、手を挟んだ。	40	7	362	10～ 29人
57	2018	9	9 ～ 10	電圧計プローブをCV1基板のテストピンからCV2基板のテストピンへ移動させる際、右手薬指が基板内部に接触して負傷した。	47	13	359	30～ 49人
58	2018	9	11 ～ 12	工作機械の修理を行っている際、技術者から切粉チップコンベア排出口に穴があいていると指摘があり、目視では確認できないため手で穴のサイズの確認をしていた。その際、機械を止めずグ ローブもはめていなかったため、穴の部分に指先が入り、コンベアのスクリューに指が挟まれ、右手薬指を骨折した。	67	7	121	10～ 29人

59	2018	9	17 ～ 18	工場内検査エリアにて、高さ4mの自立できない場所での装置用配管接続作業時、不足部品を床上フロアまで取りに行く際、床上開口部まで中腰で移動中に足を滑らせてバランスを崩し、排気取り口のエッジ部品に手をついて左手小指に切創を負った。	51	2	921	—
60	2018	9	15 ～ 16	鋼管切断ラインのプレス機金型の交換をするため、昇降台車に金型（約80kg）を移そうとしたとき、金型と台車の間に右手を挟んで骨折し、ブレーキのかかっていない台車が後方に動いて1mの高さから金型が落下し、左足甲を負傷した。	25	4	154	10～ 29人
61	2018	9	14 ～ 15	金属部品にドリルで穴開け加工中、品物を左手で押さえていたとき、長い切粉が出て左手親指の第1関節にかかり、切ってしまった。	47	7	169	10～ 29人
62	2018	10	17 ～ 18	作業場で廃棄商品の分解作業中、廃棄部品に貼られたシールをカッターで剥がす際、押さえていた左手をカッターで切った。	21	8	364	300 ～ 499 人
63	2018	10	16 ～ 17	構内のライン作業場で電動ドライバーを使って組み立て作業中、ビスをラインの隙間に落とした。指で拾おうとしたところ、コンベア下のチェーンに接触して右手人差し指を骨折した。	28	3	224	300 ～ 499 人
64	2018	10	15 ～ 16	工場では機械の製造中、ロープが外れて目に当たり、脳震盪を起こした。	44	4	379	1～9 人
65	2018	11	15 ～ 16	塗装工場のガス釜で古い塗料缶を焼いていたとき、煙が出たためガスを止めたところ、ガスバーナーの下から火が吹き出した。その際、着用していた塗装用のナイロンスーツに燃え移り、火傷を負った。	67	11	342	30～ 49人
			10	工場内で工作物である治具の段取り作業中、約25kgの治具を中腰				1～9

66	2018	11	～ 11	の姿勢で工作機械から取り外し、床の上に下ろす作業を行っていたところ、腰に負担が掛かり第4腰椎を圧迫骨折した。	67	19	612	人
67	2018	11	～ 16	工場、20tクレーンを使用して堅型射出成形機から立方形金型を取り外していた。右手でクレーンのペンダントを持って操作し、金型付近のワイヤーロープを左手で支え、金型が固定された状態のままクレーンで吊り上げたところ、左手人差し指をワイヤーロープと金型の間挟み骨折した。	40	7	211	10～ 29人
68	2018	11	～ 11	作業場で鉄の棒を溶接して曲げる作業中、ボンベと溶接する機械を繋ぐホースが劣化していたため、火が噴出した。急いでボンベの元栓を閉めようとしたとき、ホースから出ていた火が作業者に引火し、消火器で消火しようとしたが間に合わず、両足に火傷を負った。	75	11	513	1～9 人
69	2018	12	～ 19	18 自社駐車場にて、荷物を下ろし終わり、荷台でパレットを立て掛けたところ、そのパレットが倒れて右足にぶつかり骨折した。	64	5	379	10～ 29人
70	2018	12	～ 18	被災者は第2工場設置のボール盤でドリルによって鉄材の穴あけ加工を行っていた際、切粉が大きくドリルに絡みつき鉄材自体が回転しそうになったため、回転を制止させようとしたところ、螺旋状の薄い鉄の、切粉のエッジが左手甲に当たり、左手人差し指の屈筋腱が切れる負傷を受けた。	64	8	521	—
71	2018	12	～ 14	13 工場内リニアガイド組み立て場にて、ブロックをレールに組み付ける作業中、ブロックを左右に動かしていたときに、レールのタップ穴に右手の中指が入り、ブロックとレールのタップ穴の間に右手中指を挟み裂傷を負った。	64	7	379	50～ 99人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで \(2018年\)](#)に戻る。